

幕末暗殺！



年表と地図

暗殺者——時代の間に蠢いた
彼らの夢見た世界とは……

制作 神家正成

谷津矢車 菅田龍一
早見俊 秋山香乃
新美健 神家正成
鈴木英治

幕末暗殺！

幕末史の暗部に、
実力派作家
7人が挑む。

坂田門外の変
榎田室暗殺
清河八郎暗殺
佐久間象山暗殺

坂本龍馬暗殺
油小路の変
孝明天皇毒殺

出版社：中央公論新社
価格：1600円＋税
単行本：318P
2018/1/19 発売

操觚の会
初のアンソロジー

操觚の会精鋭7名が
幕末の暗殺を紡ぎます！

そうこ 操觚の会とは？

歴史小説界に風穴をあけんとする作家集団です。
新しい歴史小説を模索、構築しようと活動しています。
会員は26名。各種イベントや講演会を定期的に行い、
SNSなどで情報発信をしています。
操觚とは、古代中国で文字を書くのに用いられた「觚」という木札を「操」る、すなわち文筆業の意で、その語感が会にふさわしいと命名しました。

操觚の会 公式 SNS ハッシュタグは「#そうこの会」で！
Twitter https://twitter.com/rekishi_jidai
Facebook <https://www.facebook.com/rekishi.jidainovel/>
随時更新、情報発信しています。お気軽にフォローしてください。
2019/1/20

幕末、天誅の名の下に数々の暗殺が行われました。殺され
た者、殺した者、暗殺の教団が行く下があります。
殺された者が非業の死を遂げたのは当然として、殺した者
も不遇の人生を歩んでいます。ところが、ただ一人、暗殺
も飛躍台として栄達を果たした伊藤博文。そんな彼にも因
果は巡り、彼自身も暗殺者の手にかかり非業の最期を遂げ
ます。時空を超え、暗殺者となった若き日の伊藤博文と暗
殺者の標的となった伊藤博文の運命の時を描きます。

鈴木英治「血腥き風」
兄と慕っていた宮部鼎蔵が、京の池田屋で新選組に討たれ
たの報を受けた河上彦斎は、鼎蔵の弟春蔵とともに国防
山口を發ち、京に向かう。仇討ちの相手は、新選組副長上
方三蔵。京で上方と邂逅する彦斎と春蔵。果たして仇討ち
は成就するのか。そして、彦斎が、天下の傑物佐久間象山
を斬ることにしたいきざつとはなにか。新たな人物像を
描く河上彦斎に、ご期待あれ。

秋山香乃「裏切り者」
国の岐路に立った男たちの史上最もドラマチックなプロエ
クトが始動する。実行者は二重、三重に間者をつとめる男。
新選組でも一、二の剣の腕を誇る斎藤一。こころを運る生
活の中、それとも友と呼べる男がいた。裏切ったのは、傳
か、あいつか。死闘の末に斎藤が辿り着いた場所とは——
『裏切り者』から18年。今、再び同じタイトルで臨む『裏切
り者』をお楽しみください。

年	月	日	人物	出来事
1853	7	26	井直	幕末の文壇
1854	4	12	伊直	幕末の文壇
1854	8	12	井直	幕末の文壇
1855	1	12	井直	幕末の文壇
1856	1	12	井直	幕末の文壇
1857	1	12	井直	幕末の文壇
1858	1	12	井直	幕末の文壇
1859	1	12	井直	幕末の文壇
1860	1	12	井直	幕末の文壇
1861	1	12	井直	幕末の文壇
1862	1	12	井直	幕末の文壇
1863	1	12	井直	幕末の文壇
1864	1	12	井直	幕末の文壇
1865	1	12	井直	幕末の文壇
1866	1	12	井直	幕末の文壇
1867	1	12	井直	幕末の文壇
1868	1	12	井直	幕末の文壇
1869	1	12	井直	幕末の文壇
1870	1	12	井直	幕末の文壇
1871	1	12	井直	幕末の文壇
1872	1	12	井直	幕末の文壇
1873	1	12	井直	幕末の文壇
1874	1	12	井直	幕末の文壇
1875	1	12	井直	幕末の文壇
1876	1	12	井直	幕末の文壇
1877	1	12	井直	幕末の文壇
1878	1	12	井直	幕末の文壇
1879	1	12	井直	幕末の文壇
1880	1	12	井直	幕末の文壇
1881	1	12	井直	幕末の文壇
1882	1	12	井直	幕末の文壇
1883	1	12	井直	幕末の文壇
1884	1	12	井直	幕末の文壇
1885	1	12	井直	幕末の文壇
1886	1	12	井直	幕末の文壇
1887	1	12	井直	幕末の文壇
1888	1	12	井直	幕末の文壇
1889	1	12	井直	幕末の文壇
1890	1	12	井直	幕末の文壇
1891	1	12	井直	幕末の文壇
1892	1	12	井直	幕末の文壇
1893	1	12	井直	幕末の文壇
1894	1	12	井直	幕末の文壇
1895	1	12	井直	幕末の文壇
1896	1	12	井直	幕末の文壇
1897	1	12	井直	幕末の文壇
1898	1	12	井直	幕末の文壇
1899	1	12	井直	幕末の文壇
1900	1	12	井直	幕末の文壇

谷津矢車「竹とんぼの群青」
水戸藩士・黒澤忠三郎は友人の宮原右衛門と共に、“西
洋式のリボルバー銃の買付”という運命のために奔走
する。その後、忠三郎は順調に出世し、彦右衛門はリボル
バー銃複製の責任者につくのだが、時は折しも幕末、風雲
急を告げる時代のうねりが、二人にもひたひたと迫りくる
のだった……。二つの青き志はどこに流れゆくのか。

新美健「欺きの土道」
文久三年四月……天誅の風が吹く京都から江戸へ戻ったば
かりの幕臣・佐々木三郎は、全津藩の重臣にして実兄・
手木直右衛門から密命を受ける。將軍警護の浪士組を敵
対しておきながら、京で幕府を裏切った清河入部を暗殺し
策した。出陣の郷土であり、市井の儒学者にすぎな
かつた清河入部は、なぜ専横活動に奔ったのか？ 主君を
持たない郷土に土道はあるのか？ そして、清河暗殺を引
き受けた佐々木三郎の土道とは？

神家正成「明治の石」
幕末最大の謎である
孝明天皇の暗殺事件。すべてが闇に包まれてしまった
明治の世、若き陸軍将校がその命を懸けて謎に挑む。
果たして真相は病死なのか毒殺なのか、そしてその動機は？
菅田龍一「天が遣わせし男」
その言葉は、歴史フロンティアのみならず人々の心を今も捉えて離
さない。そんな日本史上最も有名な、最大のミステリーである
この暗殺事件を実行者側から描く異色作。ご期待下さい。

